

序

吉原 俊雄*

耳鼻咽喉科の日常診療において遭遇する症候群としては Sjögren 症候群, Frey 症候群, 頸静脈症候群, 睡眠時無呼吸症候群, Ramsay Hunt 症候群, Kartagener 症候群をはじめとして, そのほかさまざまな先天性の症候群がすぐに思い浮かびます。しかし一方では, 内科, 小児科などの他科の症候群について問われた際に即座に理解できないことも多々あります。また, そのような症候群の多くには耳鼻咽喉科領域の奇形や難聴をはじめとする耳疾患, 鼻・口腔・咽喉頭の疾患や機能障害を伴っているのも事実です。新しい概念の症候群の追加や, 逆に最近はずでに使用する頻度の低い症候群などが出てきましたため, 一度整理する必要がありました。

さて, 症候群事典としては, これまで内科系の書物として豊富な症候群を含むものが出版されており, また耳鼻咽喉科領域についても 1992 年に医学書院より「耳鼻咽喉科・頭頸部外科 症候群事典」として発行され大変好評を博しました。そして症候群の数をさらに増やし, 特に耳鼻咽喉科に関連する疾患を含み, より詳しい内容の充実した事典の発刊がこれまで切望されていましたが, なかなか実現しませんでした。このたび, われわれ耳鼻咽喉科医の日常臨床の場で役立つ症候群事典を第一の目的として, 必要な症候群をピックアップし, 全国多数の先生方に執筆をお願いいたしました。

できあがりしましたものを手にとってみますと, 非常に読みやすく, 調べやすい事典となっているのがわかります。是非, 今回発行いたしました症候群事典が各診療所, 病院, 大学病院の診察室, 医局, 図書館などに置かれ, 毎日の診療の現場で役立つ書物の 1 つとなりますよう祈っております。

* 東京女子医科大学耳鼻咽喉科 (☎ 162-8666 東京都新宿区河田町 8-1)